報道提供資料
PRESS　RELEASE

令和８年 10 月 29 日

八尾市文化賞に八尾本場河内音頭連盟

文学や芸術、芸能、学術など市民文化の発展に貢献した市民などを表彰する令和８年文化の日表彰式典が、３日、八尾市文化会館（光町２）で行われ、八尾市文化賞に、八尾本場河内音頭連盟が選ばれ表彰される。

八尾本場河内音頭連盟は、八尾の伝統文化である河内音頭の継承・発展や、若手音頭取りの育成、全国への魅力発信を目的に、平成１３年に本市で活動する音頭の会によって結成され、令和８年現在は、１２会派（歌い手）が所属する団体である。

「八尾河内音頭まつり」における盆踊り、「年越しカウントダウンライブ」、「新春！河内音頭」など、本市と連携し、季節を問わず多くの河内音頭イベントを実施し、平成２９年には、第４０回八尾河内音頭まつりにおいて、二代目美好家肇氏の音頭により、当時の「最多人数で踊る盆踊りギネス世界記録」の達成に貢献される。

また、河内音頭を全国へ発信する活動として、「第３０回国民文化祭かごしま２０１５」や「日本のまつりｉｎながはま２０１６」、「ふるさと祭り東京２０２３」、「大阪・関西万博」などに出演し、迫力満点の歌と踊りで来場者を魅了するなど、様々な地域において河内音頭に触れる機会を提供することで、市外への魅力発信に貢献されている。

昨今では、令和７年１１月に文化会館にて開催された「万博ミニフェス」や、令和８年７月に近鉄八尾駅前広場にて開催された「きんやおマルシェ」に出演し、市民にとって身近なステージで、更なる河内音頭の普及に向けて活動されている。

また、平成２４年から１５年間継続して「こども河内音頭講座」の講師として「こども河内音頭大使」の育成に携わり、河内音頭の次世代への継承にも大きく貢献されている。

これらの長年にわたる当団体の活動が、本市の伝統文化の発展に果たしてきた功績は誠に顕著であり、市民にとって大いに誇ることができるものである。今回の受賞は、当団体のこれまでの功績を称えたもの。

また、芸術、芸能、スポーツ分野など広義の文化活動において、最近の活動実績が顕著で、今後も当該分野における更なる活躍が期待できる個人又は団体を表彰する八尾市文化新人賞には、パワーリフティング選手の濱田　裕穂（はまだ　ゆうほ）氏が選ばれた。

濱田　裕穂氏は、現在、パワーリフティング選手として活躍中である。

氏は、令和４年４月から競技生活をスタートされ、令和５年３月に開催された全日本パワーリフティング選手権大会（ノーギア／クラシック部門・女子６３ｋｇ級）において初優勝、その後も圧

倒的な強さで、見事大会４連覇を果たされる。

また、令和７年７月に兵庫県姫路市で開催された「アジアン・アフリカン・パシフィックパワーリフティング選手権大会」に日本代表として出場され、女子６３ｋｇ級において、総合第３位の成績を収められる。

・スクワット　　１７０．０ｋｇ（種目別２位）
・ベンチプレス　１０２．５ｋｇ（種目別１位）
・デッドリフト　１７０．０ｋｇ（種目別７位）
　トータル　　４４２．５ｋｇ（総合第３位）

これらの氏の活躍は、本市のスポーツ活動の発展に寄与されるものであり、今後も大きく飛躍されることが期待できるものである。

式典では、八尾本場河内音頭連盟、濱田　裕穂氏のほか、市政や福祉、文化、教育などに功労のあった市長表彰９２名、４団体、教育委員会表彰２４名、７団体の計１１６名、１１団体が表彰される。

【参考１】

文化賞	１団体
文化新人賞	１名
市長表彰	９２名、４団体
教育委員会表彰	２４名、７団体

【参考２】

八尾市文化賞は、作家の故今東光氏をはじめ、書家の故榊莫山氏、演歌歌手の天童よしみ氏、映画監督の三池崇史氏、俳優の青木崇高氏など７７名、１組、１０団体がこれまでに受賞している。

【本件に関するお問い合わせ】
八尾市　総務部　総務課
住所：八尾市本町一丁目１番１号
電話：０７２－９２４－３８１０